



北野小だより



9月号
令和5年8月24日

〒181-0003 東京都三鷹市北野3-1-5 東三鷹学園三鷹市立北野小学校 校長 山根 まどか
<http://www.mitaka-schools.jp/kitano-es/>

東三鷹学園挨拶標語

広げよう 地域の笑顔 あいさつで

TEH挨拶標語

あいさつは 笑顔広がる 魔法の言葉

北野小学校
ホームページ
二次元コード



レジリエンスを育む

校長 山根 まどか

長い夏休みが終わり、明日から2学期が始まります。それぞれのご家庭や地域で、一人ひとりが貴重な体験をして、一回り大きく成長した子どもたちの元気な姿が学校に戻ってくるのを楽しみにしております。

今年の夏は、様々な地域行事やイベントが復活し、盆踊りや花火大会に向かう人々の姿を街のあちらこちらで見掛けました。会場近くを通りがかった時に音楽が聴こえ、浴衣姿等の人達に会うと、ようやく本来の夏が戻ってきたと実感し、気持ちが高揚しました。地域で開催された盆踊りにも、大勢の子どもが参加しました。身近な地域で開催される地域行事は家族で参加しやすく、近所の人と出会い、楽しいひと時を共有する機会になります。今後も9月2日に5年生の子どもたちを対象とした防災お泊り会、18日に北野例大祭、24日に新川天神社例大祭、10月7日に北野町会運動会等が予定されています。子どもが地域で開催される様々な行事に積極的に参加することにより、地域の方々と関わり地域のよさを知る機会になります。そしてその際、運営に尽力してくださる方々に感謝し、すすんで挨拶や手伝い等を心掛けてほしいと思います。

さて、2学期は運動会や展覧会等、大きな学校行事が続きます。今年の運動会は、4年ぶりに全校児童が一堂に会して実施します。残暑が続くことも想定されますので午前中開催とし、各学年短距離走の他に、1・2年生は団体競技、3年生以上は表現、全校児童による大玉送り、東三鷹学園音頭を行います。運動会に向けた練習では、皆で目標を共有し、目標達成に向けて互いに協力しながら一人ひとりが当事者意識をもって取り組む必要があります。集団で一つの競技や表現を創り上げていくためには、最初からは思うようにできません。上手い出来ないことを誰かのせいにしてたりあきらめたりするのではなく、原因を分析して教え合い、励まし合う等して練習を積み重ねることが大切です。これらの活動をとおしてレジリエンス(しなやかで折れない強さ、困難から回復する力)が育まれます。レジリエンスは、2020年、宇宙飛行士の野口聡一さんが、自身が搭乗する宇宙船の名前を「レジリエンス」と名付けたことで話題になりました。心理カウンセラーで教育相談員の巖岩奈々さんは、「インナー・ストレングスを育てる」(2017年、金子書房)において、失敗してもそこにとどまらず、次なる挑戦に挑んでいく力をインナー・ストレングスとし、類似した概念の一つとして、レジリエンスを挙げ、それらに共通する要素として次の4つを示しています。

- ◇堅固性 (困難なことが起きても、それに耐え、自分が考えたことをやり通す自律的で自己肯定的な要素)
- ◇創造性 (困難に対処でき、よりよく生きるために価値ある思考を行動しようとする要素)
- ◇つながり (周囲の者から助けを得ることができ、絆やつながる感覚)
- ◇柔軟性 (出来事を適切に受け入れ、物事を様々な側面から捉えようとする柔軟さ)

レジリエンスを育むことが、一人ひとりの多様な幸せ(ウェルビーイング)の実現につながります。家庭では、温かい声かけやスキンシップ、子どもがやりたいことに取り組みませ、上手いかなかったときには励まし応援する等に効果があるそうです。学校における様々な教育活動と子育てで、共に子どものレジリエンスを育んでいきたいと思ひます。

9月の生活指導目標

【月目標】話をしっかり聞こう

【言葉の目標】「すみません」「失礼します」を場に応じて使おう

